



片づけを考える

〇人とモノの関係

桃、始めて笑く(さく)季節になりました。いかがお過ごしですか。気候も良くなり、外出も増えるとお財布の紐も緩みがち…。何となく、雰囲気でもノを買いたくなりますね。

欲しい時に買って、要らなくなったらすぐ処分する、なら整理術上では問題ないのですが、でも、それはモノに対してちょっと一方的なやり方です。

これが結局は、モノに振り回されてしまう原因につながっている気がします。今こそ、モノを大切に思う事を改めて考える時期に来ているのかと思います。

大量生産の今の時代には忘れてしまいがちですが、モノは道具として古(いにしえ)の時代から人間の「生」を助け、また「文明」を創ってきたもので、人間にとって必要不可欠な存在です。

それは、今までもそうですし、これからそうです。ところが、私達の中で「モノは人の命を支える役目を担っている」と捉える意識が薄くなってしまっています。

それは、ひとつひとつのモノを大切に思っていないからです。大切に思える様になるにはどうしたらよいかというと、

それは、ひとつひとつの「モノ」にひとつひとつに「定位置」を与える事から始まります。大切なパートナーに居場所を決めてあげるのです。

その「存在」を認め、常に「意識」できる様に形にしておくのです。いつも決まった場所にあるモノ達は、人がそれを使いたいと思う気持ちにすぐに応えてくれます。

そうすると、人はそのモノをあてにするようになり、大切に思う様になります。また、モノも本来の仕事が果たせて生き始めるので、人とモノの関係はさらに良くなっていきます。

この時に、人はモノとの一体感が得られるのです。モノとの一体感を感じられるようになれば、モノへの考え方、持ち方が変わってきます。

モノへの一方的な考えも消え、モノに振り回される事もなくなります。定位置を与える事により、人とモノの本来の形が見えるのです。

モノは、人の生命を維持してきたもの、といっても過言ではありません。決して、余分な存在ではないのです。

モノを使いこなすのは人ですが、モノに対して良い関係が築けていないとモノからの無言の抵抗で家の中が片づかなくなります。

その事を避ける為にもモノに定位置を決める事が、家の片づけの基本になるのです。



出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」
「シニア世代の家の片づけ方」
「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為にお母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5Sから考える職場の整理収納」他

整理収納全般のテーマでお受けします。
内容、ご予算等お気軽にご相談ください。

〇資格取得講座<整理収納アドバイザー2級認定講座>
ご希望日をお知らせください



朱夏らいふ

森 由香 (もり ゆか)

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1級)

<朱夏らいふ>

中国の五行説では、青い春(青春)の次に来る季節は朱い夏(朱夏)です [朱夏らいふ] のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんと暮らし、そして、自分を応援する意味が込められています



朱夏らいふ便り (4)

発行日：2015年3月1日(日) No.4

編集&発行：朱夏らいふ 森 由香

HP : <https://shuka-life.com>

E-mail : info@shuka-life.com



トピックス



春は、自立の季節。ひとり暮らしを始めたり、新しい家庭を持つために実家を出る人も多いでしょう。

出る人は、限られた時間で新しい生活の準備をするのに精一杯で出て行く部屋を構ってられません。

要るモノだけを持ち出して、後はそのままになってしまふ事がほとんどです。

落ち着いたら片づけに来よう、と思いながら20年位はあっという間に経ってしまいます。



今、親御さんと一緒に実家を片づける事が注目されています。子どものほうは、こんなに大量のモノを残されたら自分達がたまらないという気持ちが働き、あれもこれも処分して欲しいと態度と言葉に出てしまいます。

ですが、多くの親御さんは、家の一部とはいえ、子ども達が行った日から、自分達が楽しみや余裕で使えた空間を子ども達のモノの為に黙って与えてくれたのです。

その辺りを汲み取って、自分達が困る、ではなくて、親御さんが安全、安心に暮らす為に片づけを手伝ってあげてはいかがでしょうか。

同じモノを手放すのでも、こんなもの残されても困ると言われるより、この分が広く使えたら快適だね、と言われたほうが、気持ちよく処分できるのです。

歳を重ねてからモノが減るのは寂しいものです。

ですが、その気持ちは心配してもらっているという安心感と簡単に交換できます。

実家の片づけはあくまで親御さんの為、自分達の為ではないのです。



～巣立ちの季節に～

インテリアのワンポイント④

自分好みのインテリアスタイルを知る話の続きです。今回は質感を考えます。質感とは、素材の持つ視覚的、触覚的な感じや表面の肌合いの事です。前回、素材の好みを選びましたね。

素材の好みで、基本のスタイルが決まります。その中をさらに、質感でも分けていきます。

例えば、自然素材が好きな場合でも、素材本来の荒削りな質感を好むのか、きれいに削られて仕上げられている感じが好きなのかでもインテリアのイメージは違ってきます。人工素材でも同様で、質感がスタイルを絞り込みます。

ざっくり、ざらざら、つるつる、ぴかぴか、さらさら、きらきら。本来の質感と仕上がり感から『好き』を見つけます。

これで、かなり好きなインテリアスタイルがはっきりしてきました。次回は、形（フォルムとライン）からも好みを探ってみましょう。



コープカルチャーの新しい講座が始まります。
・必ずできる家の片づけ方 春日部教室
・インテリアも学べる整理収納術 富士見教室
・親の家を片づけよう 越谷教室

講座のご案内

3/8 学びま専科 家の片づけ方
(蓮田市社会教育)

3/14 紙の電子化&クラウド化講座
(南桜井パソコン教室)

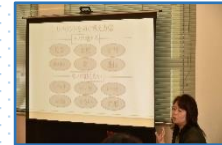
※最新情報は HP をご覧ください

お知らせ



講習会から

～ご受講ありがとうございました～



○ ウキウキセミナー
「収納の仕方」
衣類のたたみ方をお話しました



○整理収納アドバイザー認定講座
皆さんの意識の高さに驚きました



OROSE LAND→
「暮らす」をテーマに
色々な話が聞けます



モノ語り

◆大切なのは、家？地球？



夕方のマーケットで、女性が買った肉のトレーをひとつずつ外し、包み直していた。

そして、用済みのトレーを何の躊躇もなくゴミ箱に捨てて帰って行った。

もはや、衝撃を通り越して変な感動をしてしまった。

家に入れないと決めたら、人目も資源問題も全く関係なく実行する強い人もいるのだ。

かたや、洗って乾かした資源ごみでキッチンが占領されている人もいる。

意識が高い方が損してる～？

確かにモノを増やさない精神はお見事だが、う～ん… 何か違う…と思う。



収納グッズ

～ティッシュの空き箱～



ティッシュの箱の上部を切り取ると文庫本が収まるサイズになります。

本棚に奥行きがある場合、手前に置いても箱ごと動かして奥の本も取り出しやすく便利です。

空き箱を内箱にしてティッシュボックスカバーに入れておけば見た目もきれいです。(本を直に入れるより空き箱を内箱にするときちっと収まります)

本の紹介

佐藤可土和の超整理術

日本経済新聞出版社



クリエイティブな仕事は、数多の物を広げてそこからキラメキを選び出す事と思われがち。

でも、この本では、あらゆる事を整理し削ぎ落してそこから本質を見つけ出す事だと語っています。トップクリエイターの〈モノと思考の整理術〉の本です。

著者：佐藤可土和 定価：771円(税込)
ブログでも本の紹介をしています
朱夏と LIFE のお片づけ日記
→ <https://ameblo.jp/shukalife>

整理収納用語の解説

～グループ収納～

同じ仕事をするモノをひとつにまとめて収納しておく事を言います。

例えば、荷物の梱包、開封時に使うハサミ、カッター、テープ、ひも、送り状、ペンなどが一緒に収納してあると時間と手間が少なくて済みます。

グループごとに出してきて使って、しまっておくというグループを崩さない事がポイントです。グループ内から何かを単独で持ち出してどこかに置き放しなどしてはいけません。

～整理収納相談 Q&A～

- ・Q 家族がそれぞれ自分のモノを捨ててくれませんか。
 - ・A 自分以外の人の持ち物に対しては皆さんとてもシビアです。でも厳しい事を言う様ですが、家の中でご自分のモノもかなりの数があるのでは？まず、ご自分やご家庭のモノの整理から始めてみて下さい。同時にリビングなどに散らかっている私物は、人別に収納場所を決めてみてはいかがでしょうか。
- 家族が整理を始めるきっかけになるかもしれません。

